（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	マルチメディアによる妊娠出産・子育てサポート情報の発信事業
事業主体 （連絡先）	松本大北地域　出産・子育て安心ネットワーク協議会 （事務局　0263－40－1937）
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業 (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,256,198 円（うち支援金：4,165,000 円）

事 業 内 容

(1) 妊娠・出産・育児の疑似体験ができるシリアスゲームの制作

スマートフォン用のゲームアプリを制作し、ゲーム体験者がストーリーを進めることでこの地域における産科病院のかかり方、妊娠出産の準備、受けられる行政支援といった知っておくべき情報を学べる内容とした。

・「はじめての妊娠」令和７年３月 24 日リリース

【はじめての妊娠】

(2) Web サイト・SNS による情報発信

妊娠出産・子育て世代が必要とする情報をアプリゲームやインターネットメディアで発信するため取材を実施した。

・取材件数：10 件

【目標・ねらい】

① シリアスゲームのダウンロード数 1,000

事 業 効 果

シリアスゲームは、映像・音声による直感的な学び、アクティブラーニング、急変時のシミュレーションを実装した学習効果の高いものができた。

また、制作を通じて、次世代医療者の育成に貢献することができた。

※自己評価【　C　】

【理由】
シリアスゲームのリリースが年度末となってしまったため、十分なＰＲが行えなかった。

今後の取り組み

令和６年度事業では１作目として「はじめての妊娠編」を制作した。令和７年度事業では第２作目として「はじめての出産編」を制作する。

２作目は１作目の制作ノウハウを活かしてよりクオリティの高い内容を目指すことはもちろん、１作目の体験者にアンケートを行い、その結果を２作目に反映する。さらに、当協議会が独自財源で毎年実施している市民公開講座等の場で１作目をＰＲするとともに、その場で２作目に対するニーズを当事者から直接聞き取り制作に反映する。

引き続き、身体的・精神的に余裕がない妊産婦や育児者が隙間時間にスマートフォンを利用して必要な情報を得られるよう、マルチメディアにより簡便で正確な情報発信を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある